

大池



上岩出小学校
学校だより No. 6
令和5年3月7日
文責：向竹

(校訓) 花のように美しく 水のようにすなおで 石のように強く

はる ちか 春が近づいてきました。

1ヶ月前の2月4日に立春を迎え、1ヶ月がたちます。日中は、暖かい日も多くなり、春を感じることも多くなりました。2月24日(金)には、『6年生を送る会』を行い、在校生のみなで卒業する6年生のお兄さん、お姉さんに今までの感謝と中学校進学への激励の気持ちをいろいろな形で伝えることができました。

コロナ禍で、以前のように全校児童が体育館に入っただけの実施はできませんでしたが、1年生から5年生までのお友達と先生方の「6年生に楽しんでもらおう!!」と、いう気持ちがいっぱい詰まった『6年生を送る会』でした。

今回の『6年生を送る会』で、やはり子供たちの異学年でのふれ合い、関わり合いは大切だなと思いました。在校生は、感謝の気持ちを伝えようと頑張り、6年生は、その姿を見てそれまでの小学校生活を思い出しているようでした。1年生と6年生のお友達の感想を紹介します。



◆きんちょうしたけど、大きなこえでいったら、めちゃめちゃ たのしかったです。6年生に、「にじいろ」をうたうのが、じょうずにうたえました。6年生に見てもらったのが、うれしかったです。メダルをわたすところが、きんちょうしたけど、みんなと6年生にメダルをかけたなら たのしかったです。

1年1組 かわ えいと

◆6年生が、よろこんでいるのを見て、じぶんもいいきもちになりました。「にじいろ」のうたが、じぶんでもきにいつているうたです。先生が、うしろでみてくれていたから あんしんしました。

1年1組 まつおか さな

◆6年生に、メダルをあげることがさいしょ きんちょうしたけど、だんだん時間がたってくるとたのしくて、きんちょうしなくなってきました。ほんとうに 6年生は せがたかくて、まじめで、ほんとうにやさしくて たよりになって、かっこいいです。それに、しせいもピンと立って ぼくたちが できないようなことをぜんぶして、かっこいい。なやさんが いったとおり ぼくたちのあこがれです。きょうみしんしんで、ぼくたちもいまから 6年生になりたいきぶんです。

1年1組 やつたに たくと

◆6年生のみんなに、メダルをわたせてよかったです。また、6年生とドッジボールをやりたいとおもいました。6年生とおにごっこをしたり、キャッチボールをしたいとおもいました。6年生も、中学生になっても たくさんおともだちをつくらしてくださいね。

1年2組 まえだ そうま



このとき、1年生のお友達は、ドキドキしていたのですね。でも、全然わからないほど、立派でした。

◆今日の「6年生を送る会」で、私は、とても楽しかったし、感動しました。3年生から5年生のみんながしてくれたゲームとかすごく楽しかったです。どれも、手の凝ったものばかりで、特に、おぼけやしきは、映画村と同じくらいこわかったです。3年生のペットボトルチャレンジは、簡単にできるのに楽しかったです。1, 2年生の歌と言葉の中で、「カッコいい6年生。」という言葉が一番心に残りました。理由は、私たちが、1年生の時、6年生がすごくかっこよく見えたように、今の1年生のみんなは、私たちがをカッコいいと思ってくれているとわかったからです。

6年1組 宮崎 穂望

◆「6年生を送る会」の感想は、今まで6年生がどんな気持ちでしていたのか、全てのプログラムのクオリティが高くて驚きました。その中でも、1年生の歌、5年生のプログラムが印象に残りました。1年生は、最初は、そうじ、運動場のルールを休み時間に一緒に勉強したりしたけど、今では、協力して歌を歌っていました。5年生は、一つ一つがクオリティが高いのに色々な物を用意してくれました。もう一度、やり直したいぐらい良い思い出になりました。卒業の実感がわきました。

6年2組 岩橋 昂輝



今までの6年生の送られる気持ちがわかりました。6年生は、1年生の皆さんの立派な姿に感動しましたね。

ニュース和歌山で紹介されました。

2月2日(木)にニュース和歌山の方が、上岩出小学校の給食委員会が取り組んでいた「がんばれ完食カード」について取材に来てくれました。取材のきっかけは、先生方に「学校自慢について教えてください。」と、頼んだところ、2年2組のお友達が、早速、学級会で学校自慢について話し合ってくれました。そして、「給食を頑張って食べているよ。」と教えてくれました。これは、1月の最後の1週間、「自分の食べられる分だけ食べよう。」「あと一口、挑戦しよう。」を合い言葉に給食の残食を少なくする取り組みの事です。学校を代表して、6年2組の教室での給食の様子や給食委員会の人インタビューを受けてくれました。全校の取り組みが、新聞で紹介されて本当によかったです。



卒業式の練習が始まりました。

6年生の卒業式の練習が、2月27日(月)から、始まりました。初日は、「心構え」「座る位置の確認」「門出の言葉」等を行いました。歌も、とてもきれいな歌声で歌っていました。3月3日(金)には、5年生が会場設営を頑張ってくれました。当日の卒業式まで、心を一つに頑張っていきましょう。



2月20日(月) ^{さいご}最後のクラブ活動で… ^{かつどう}



2月20日(月)に、今年度の最後のクラブ活動を行いました。5月から、毎月1回のクラブ活動に上岩出地区の「老人会」の皆さんが、学校に来てくださいました。将棋・オセロクラブでは、将棋の駒の指し方を教えてくれました。昔遊びクラブでは、いろいろな昔の遊びを一緒に作ったり、遊んだりしてくれました。カンボックリを作ったときには、2ヶ月前から、缶を集めてくださったり、竹でつくったものを持ってきてくれました。本当に、色々な声かけをしてくれたり、技を教えていただきました。最後に、感謝の気持ちを伝えました。老人会の方は、「昔は、私も大人の人に将棋を教えてもらったけど、なかなか上手にはならなかったよ。」と、話してくれました。みんなの手紙にも、「一緒に活動ができて嬉しかったです。」と書かれていました。老人会の皆様、本当にありがとうございました。

また、こんな風に地域の方との交流が、できたらいいと思います。



3月15日(水) ^{かんがいしゅう}缶回収の ^{きょうりょく}ご協力 ^{ねが}お願いします。



2月15日(水)には、育友会の役員さんが、朝から缶回収をしてくくださいました。この日も、アルミ缶を入れた袋を手に持ちながら、登校してくれるお友達がたくさんいました。ご協力ありがとうございます。

3月15日(水)は、今年度、最後の缶回収です。また、一つでもいいので、お家にアルミ缶がありましたら、ご協力お願い致します。今年度は、リサイクルしたお金を児童会のお友達がどのように使ったらいいのか話し合い、考えてくれています。



3月1日(水)に登校の見守りをしてくださいました。



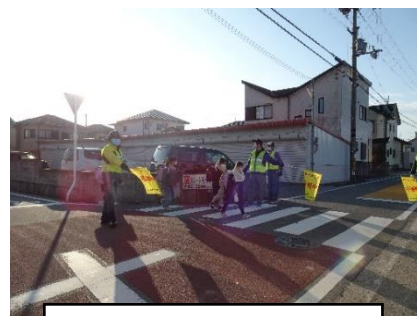
3月1日(水)は、セーフティネットの日でした。地域の人たちが、7時30分ぐらいから児童の登校を見守ってくださいました。見守ってくれている方に、「おはようございます。」と、元気にあいさつできる子もいます。毎月、1日と15日に通学路に立って、安全に登校できるように見守ってくださっています。本当にありがとうございます。



学校の正門前



宇田内科胃腸科の信号のない交差点



旧ハナミズキの交差点

3月1日(水)にリモートで賞状の伝達をしました。紹介します。

読書感想文地方特選 西端 駿さん(4年2組)
和歌山県ジュニア美術展 入選 松場 桃花さん(2年2組)
読書会 準特選 西本 栞理さん(5年2組)
入選 中村 乙葉さん(4年1組)
「図書館を使った調べる学習コンクール」
全国コンクール 佳作 上野 應太さん(5年1組)

科学作品展 特選

入選

白石 逞翔さん(3年2組)
白石 凱都さん(6年2組)
露峯 是と 陽斗さん(2年1組)
早川 旭飛さん(2年1組)
瀬戸口 心束さん(4年2組)
川口 留美恵さん(5年1組)
的場 優希奈さん(5年1組)

～調べる学習の上野さんにどのように調べたのか発表してもらいました。～

「図書館と現地で調べた！関ヶ原の戦い」

皆さんは、関ヶ原の戦いを知っていますか。関ヶ原の戦いは、徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が、戦った天下分け目の戦いです。この戦いは、日本最大の戦いなのに6時間という短い時間で勝敗が決まった有名な戦いです。ぼくは、小学4年生頃から歴史が好きで、歴史ゲームで遊んでいました。そして、歴史に興味を持ち、歴史について詳しく知りたくなり、歴史マンガを読むようになりました。その中でも、ぼくは、戦国時代の戦いが好きです。特に、関ヶ原の戦いは全国の大名家たちが戦うと言うところに魅力を感じました。そして、どんなところで戦ったのかな、なぜ、関ヶ原で戦ったのかなと言う疑問がわいてきたので、岐阜県関ヶ原町に行くことにしました。関ヶ原は、平地で山に囲まれていました。そして、見通しがよく、坂道は少なかったです。実際に戦いが行われた場所に立ってみると、自分も関ヶ原の戦いに参加しているような不思議な気持ちになりました。建物が建っていたりと、当時とは異なる風景だけど、そこから見える山や空は同じなんだと思うようになりました。その広い平地は、大勢の兵士たちがぶつかり合う場所として、適していたらうなと思いました。また、関ヶ原で驚いたことは、あちこちに武将や兵士の墓があることです。ぼくは、戦いが起きると死んだ人を放置するのかと思っていました。でも、この関ヶ原にいて戦っても、命を大切にすることというのに驚きました。実際に、現地に行くことで、本や資料を読んで学習したり、想像したりするだけでは、わからなかったことを知ることができ、疑問も解決することができました。皆さんも、実際に足を運んで歴史を勉強することをおすすめします。

